

「社長が3ヶ月不在でも成長する会社の作り方」安東邦彦著

## 社長は現場から離れよ

日本の中小企業の倒産・廃業数は、1日に700社にもものぼる。10年間生き残る企業は約5%。こんなはずではなかったと嘆く社長たちの声が、今にも聞こえてきそうだ。

事業がうまくいかない原因のひとつとして、本書では「社長がいつまでも職人である（現場仕事をしている）」ことが挙げられている。例えば敏腕営業マンが独立したら、最初は現場に立つのが当然だ。しかし事業が軌道に乗れば、経営者として会社の未来を考えたり、組織について考えなければいけない。社長の営業



力に依存しているかぎり、社長は多忙になるばかりだし、社長のキャパシティ以上に会社が成長するわけがないのだ。

本書は著名なスモールビジネスコンサルタント・マイケルE・ガーバーの教えを受け継ぐコンサルタントによって、日本人経営者向けに書き直された、スモールビジネスの経営者を救う唯一の処方箋だ。

インフォレストパブリッシング・1575円